

# 救う過去つなぐ未来

川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展

2021

9/7(火) - 10/31(日)

東海道かわさき宿交流館  
3階企画展示室 観覧無料

開館時間：9:00 ~ 17:00

休館日：月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)





# 川崎市市民ミュージアム被災から現在、そして未来へ

川崎市市民ミュージアムは、2019年10月の台風19号（令和元年東日本台風）により9つあった地下収蔵庫全てが浸水し、収蔵品約23万点が被災するという甚大な被害を受けました。施設は休館中ですが、ミュージアム内部では被災直後から設備の応急的な復旧を行うとともに、収蔵品の収蔵庫からの搬出、作品の劣化の進行を食い止める「応急処置」などの収蔵品レスキュー活動を、様々な外部団体のご支援・ご協力をいただきながら行なってまいりました。引き続きひとつでも多くの収蔵品を救い未来へつなげるため、迅速な応急処置や、専門家による「修復」などの活動を進めて参ります。

本展では市民ミュージアムの被災からこれまでの活動を、写真パネルを中心にをご紹介します。収蔵品の応急処置や修復は未だ道半ばではありますが、ご支援くださった方々や関心を寄せてくださっている皆さまをはじめ、広く当館の現状をご報告できればと考えております。



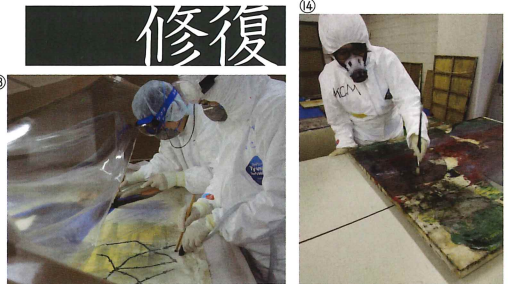
## 応急処置



- ①被災直後の地下へ降りる階段
- ②被災した地下整理室
- ③被災により湾曲した第3収蔵庫の金属製の扉
- ④国土交通省による排水作業
- ⑤レスキュー活動の事前ミーティング
- ⑥被災した第7収蔵庫
- ⑦歴史分野のレスキュー活動
- ⑧映画分野のレスキュー活動
- ⑨グラフィック分野の応急処置作業
- ⑩写真分野の応急処置作業
- ⑪民俗分野の記録作業
- ⑫グラフィック分野の応急処置作業
- ⑬グラフィック分野の応急処置作業
- ⑭美術文芸分野の応急処置作業



## 修復



### 川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの記録

奇市市民ミュージアムでは、「被災収蔵品レスキューの記録」として、レスキュー活動の記録や情報を、ウェブサイトにて発信しています。収蔵品の復を解説した記事や、映像ドキュメンタリー等の内容となっております。展示と併せてご覧ください。



### アクセス・施設情報

#### 東海道かわさき宿交流館

会期：2021/9/7(火)～10/31(日)  
 休館日：月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)  
 開館時間：9:00～17:00 観覧無料  
 住所：〒210-0001 川崎市川崎区本町1-8-4

※本展の会場は東海道かわさき宿交流館です。川崎市市民ミュージアムではありませんのでご注意ください。

お問い合わせ先：川崎市市民ミュージアム



●JR月島駅・北口東口から徒歩約1分  
 ●京急川崎駅から徒歩約6分